

信友

第5号

信友会創立20周年記念



座談会 信友会20年の歩み
特集 会員だより

昭和59年2月1日

すぐれた品質と信頼性を 支える5つの力

電波機器・伝送機器・電子機器
移動無線機器・水晶機器



エレクトロニクスを暮らしに活かす

東洋通信機株式会社

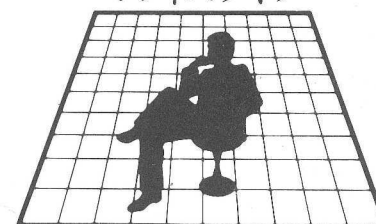
TOYO COMMUNICATION EQUIPMENT CO., LTD.

〒105 東京都港区西新橋3丁目20番4号

電話 (03)436-4070 (代表)

いい仕事しよう。

クリエイティブ
オフィスライフ



- パーソナルコンピュータ
- ワードプロセッサ
- オフィスコンピュータ
- ファクシミリ
- オフィステレホン
- 電子交換機

沖電気OAシステム

エレクトロニクスの
沖電気

● 沖電気工業株式会社 防衛営業本部 〒東京都港区芝浦4-10-3 ☎03(454)2111(代)

 **HITACHI**

技術との自由な対話

Interface

株式会社 日立製作所 宣伝部 〒101 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 TEL東京(03)258-1111(大代)

コミュニケーションから生まれた技術——30年

営業品目 通信機器・情報機器・電子機器・電子部品



(未来技術で豊かな社会づくりをめざす)

 **国際電気株式会社** 東京都港区虎ノ門1-22-15



〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3<三菱電機ビル>

☎(03)218-2111(大代表)

National

光電子ファイルがオフィスを変える。

OAの基本ともいえる情報の
保管・検索、そしてその伝達
手段であるネットワークを
いかに構築するか...



お問い合わせ...

松下電送(株) 〒104 東京都中央区京橋2-13-10 ナショナルOAセンター TEL(03)535-6200.

表紙

題字：茅島忠淮尉書(陸幕勤務)

写真：重 搬(通信団提供)

座談会 信友会20年の歩み..... (32)

特集 会員だより (371名)..... (54)

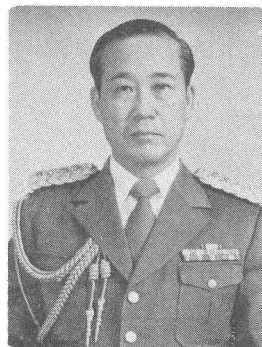
夫死亡時における妻の手続		(編集部)	112
高令者の運動処方とジョギングのやり方		(編集部)	118
野外通信電子器材の歩み		福田邦明	120
副会長就任のご挨拶		田中邦明	123
なぜか不動産屋四年生		井上巽	98
老化防止について		廣嶋清彦	100
私の健康法		有岡正一	102
交通戦争を勝ち抜くために		佐左部仁	105
【比国から】マニラで元気にやっています		菅月野木	52
【米国から】信友会の飛躍発展を寿ぐ		田中稲雄	49
【鹿児島から】畢生の棲家造り		山崎定雄	47
【鳥取から】僻地雑感		渡辺修	46
【北海道から】北の便り		佐々木次郎	45
【愛媛から】私の生き方		大辻隆三	44
【秋田から】郷里に帰った浦島太郎		松村謙造	42
【京都から】釣と麻雀と人生		森田英郎	41
【愛知から】拝啓御無沙汰しましたが		中島格	40
【福岡から】博多だより		渡部敬太郎	5

信友会創立20周年記念

信友 第5号 目次

祝 辞	「信友会の皆様へ」.....	渡部敬太郎	(5)
巻頭言	老婆心.....	大河原三平	(6)
現役から寸言	「信友の皆様に」.....	松浦昇	(8)
	二十周年に寄せて.....	向吉長門	(9)
	創立二十周年をお祝いして.....	松本米二郎	(9)
	各職種のOB会.....	牛山正吾	(10)
	信友会創設二十周年に寄せて.....	中本吉昭	(11)
	いろいろの会議に出席して.....	永野茂門	(11)
	「信友」によせて.....	小林有一	(12)
想い出		関口鑛造	(13)
老兵管見		緒方二郎	(14)
昭和二十年の夏		小崎好一	(16)
恋をしましょう		西方勉	(19)
通信建設業界に勤めて		植木照穂	(22)
角力將軍		武田照彦	(24)
ふるさと紀行		久野春夫	(26)
近況雑感		岩田孝一	(27)
南太平洋の昨今		渡辺正	(28)

祝 辞



「信友会の皆様へ」

陸上幕僚長 渡部 敬太郎

信友会創立二十周年おめでとうございます。

信友会は、会員相互の親睦を図るため、古くは昭和三十二年御退官の方を筆頭に、千六百名余の通信関係OBが相集われて二十年になり、現役との交流も盛んに行なわれていると伺っております。御在任中から、「通信は通心から」をモットーとされてこられた方々ならではのことと、深く敬意を表すると共に、榮えある二十周年を心から御祝い申し上げる次第です。

扇谷正造氏の著作に、「晩年の心境」という次のようなエッセイがあります。

「海に注ぐ大河も、その上流をたどれば途中急流もあれば激流もあり、そのうち川筋はだんだん細まり、やがては谷川のせせらぎとなる。そのあたりには水気を含んだ雲が漠々と動いている。

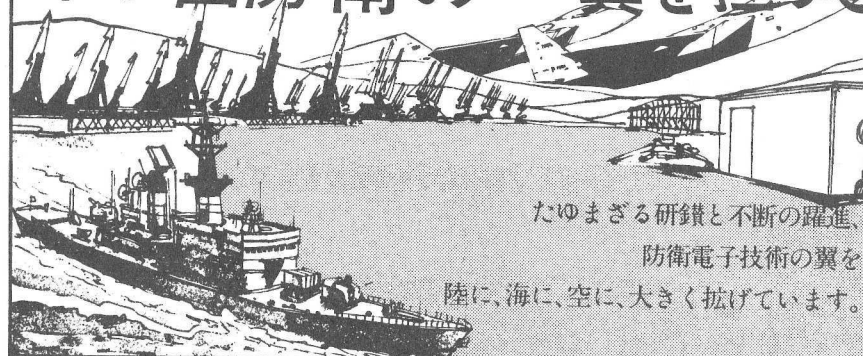
いま悠々自適の身は、その原点（せせらぎ）に立ち帰って、そこに坐り、観察し、思考し、次の時代（漠々たる雲）はどう転換するかじつと見つめている。——私の晩年にとって望ましい境地である。」

陸上自衛隊も創立以来三十三年、シグナルからコミュニケーションへと発展してきた通信も、戦力の多様化、広域立体化に伴い、C3Iと呼ばれる高度の形態に対応できることが要求され、これと裏腹に、電子戦と呼ばれる新たな戦斗態様を生みだすまでに、大きく変革を遂げつつあります。

このような時勢に、せせらぎから急流を経て、大海に注ぐに至った経験に立脚し、澄みきった心境で、漠々たる雲（時勢）の行方を鋭く洞察され、後輩に有益な御示唆を戴くにふさわしい方々の集まりこそ、まさに信友会だなど、独り想っている次第です。後輩に対する相変らぬ御指導、御鞭撻をお願い致します。

全国各地で、各方面に御活躍の信友会員の皆様が、共通のテーマ「通信」を絆として、益々親睦を深められ、末永く御健勝で御発展されますよう祈念致して、お祝いの言葉と致します。

わが国防衛の一翼を担って



たゆまざる研鑽と不断の躍進、
防衛電子技術の翼を
陸に、海に、空に、大きく広げています。

●主な営業品目

護衛艦搭載用情報表示サブシステム(AN/UYA-4)

F-15搭載射撃管制装置用電子機器(APG-63)

自動防空警戒管制組織(バジシステム)

ミサイル用対空戦闘指揮装置(TSQ-51B)



日本アビオニクス株式会社
NIPPON AVIONICS CO., LTD.

本社 東京都港区西新橋一丁目15番1号(住友田町ビル)
〒105 ☎(03) 501-7351(代表)
大阪営業所 大阪市淀川区西中島一丁目11番16号(住友商事淀川ビル)
〒532 ☎(06) 304-7361(代表)
横浜製作所 横浜市瀬谷区本郷二丁目28番2
〒246 ☎(045) 301-2141(代表)

多彩な技術で、さまざまなニーズにお応えしています。

実用化が進んでいる夢の通信方式—光通信。

そのかげで、アンリツの光通信計測器が

幅広く活躍しています。

そのほか、通信機器・

コンピュータ関連機器・

産業自動化機械の

分野にも、アンリツは、

時代の要求に応える

ユニークな製品を

お届けしています。

●有線・無線通信機

●電子計測器

●コンピュータ関連機器

●産業自動化機械

●精密工業計測器

アンリツ
安立電気株式会社

■本社/東京都港区南麻布5-10-27(アンリツビル) 電話03(446)1111 ■支社/大阪 ■支店/札幌・仙台・東京・名古屋・神戸・広島・福岡

老婆心

信友会会長 大河原 三平

過日熊本を訪れる機会を得たとき、金峰山の辺りを眺めながら、若い頃感銘を受けた夏目漱石の草枕の名文句「知に働けば角が立つ、情に棹させば流される、意地を通せば窮屈だ」云々を思い出しました。この名文が書かれた時代の背景を推測して見ると、「文明開化」の大合唱とは裏腹の、専ら西欧模倣志向と封建性の残滓の中での「無思考期」ともいべき世の中であつたと思われまふ。

こうした世相に対し、創意思考と創造意慾に燃えた文豪の、忿懣の表現かとも思われる名調子が、昭和初期の沈滞した世相に寂然とせず、何か物足らなさを感じていたやんちゃ坊主の心を強く捉えたのかな、と勝手に解釈して感慨を新に致しました。

翻つて「信友」の皆さんの活躍の足跡を振り返って見ると、吾が自衛隊の草創期は、米國絶対で日本の過去は総て罪惡視、米軍マニアルの鵜呑み至上主義、〇×テストで七〇点を越えられるかどうかといった低次元の受験生的思考、等と、これとは一八〇度位相を異にした、旧軍の過去に執着した「思考停止」型等々が、混在というより渦を巻いていたといった状態で、防衛に大変重要な独創的思考の介在する余地は無さそうに思われました。が幸い、陸上通信に関しては、早い時期に、防衛通信の本質に則つて具体的目標が掲げら

れ、装備面では技術の新しい流れへの対応をバックアップ出来る国内技術及び製造基盤があつた等々から、通信職種を挙げての創意的思考により、説得力のある自前路線を布くことが出来、これの推進に当つては、通信ファミリーの心も揆も一つにした、しつかりした連帯感と、通信の特徴である日常業務や訓練の総てを通じての、具体的な業績評価を直ちに改善策に適応さすフィードバック回路の確立、これ等を総括する旺盛な進取の行動力によつて、遮二無二に前進を続けたというのが実感でありましよう。言い換えれば、知を働かし、強い連帯感の情をバックに、職種としての信念〓意地を貫き通して来たと言言出来るましよう。

ところが今日のエレクトロニクスを主軸とした技術革新の激流は、私共の古巣通信職種を華かな表舞台へ押し出すと同時に、現役の諸官に英知を働かせての発想の飛躍による新路線の設定、夫々の立場の人々のより緊密な心の繋がりが、進取堂々の前進を要求しております。勿論現役諸友の力量充分と確信するものでありますが、私共信友も大いに心掛けて身心の若さを持続し、通信職種発展のため大いに声援を送りたいと思ひます。

何はともあれ、陸上通信という共通の場で情熱を傾け合つた連帯感を風化させることなく、心の故郷信友会が、より「情」豊かで壮健な、通信ファミリーとして発展して行くよう、心から祈念して已みません。





「信友の皆様に」

東北方面總監 松浦 昇

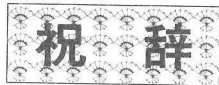
通信科職種として陸上自衛隊に在籍された幹部自衛官等のOBの方々の親睦の会である「信友会」が、いよいよ創立二十周年を迎えられると聞き、現職の私共としてまことに御同慶に堪えず、心からお祝いを申し上げる次第であります。

陸上自衛隊の各職種それぞれ、この種の会を持つて、相互の親睦・融和団結を図っている様であります。が、「信友会」程、活潑でしかも無理なく、スムーズに会の目的を達成している会は、他にあまり無いのではないかと、現職の連中間で話し合っております。

これは、時代の先端を行く活気に満ちた通信電子工業会をバックとする、活動的な通信科職種の優れた特性による事も充分考えられますが、やはり何んと言っても、大河原会長先生をはじめとする関係役員の方々の御人柄と、御努力による処極めて大なるものがあると、深く敬意を表するものであります。

現職の私共も逐次退職し「信友会」に入会させていただく事になるわけで、在職間、会の円滑な御運営に、及ばずながらいさゝかなりとも、お役に立つ事があれば懸命に努力させていただくつもりで居ります。会員の方々が、御在隊間、単に通信科職種の為のみならず、陸上自衛隊全般の前進向上の為尽されまして御功績は、まことに立派なものであり、また、この御業績が、夫々の方の御人生での貴重な無形財産となっているものと考えております。

この財産を有効にお使いいただく為にも、大いに部隊等を御訪問の上、後輩を御叱正・御指導をいただき、現職との関係が温かい、しかも密度の濃い「信友会」として、今後益々御発展あらん事を現職の一員として、心からお願ひ申し上げます。



20周年に寄せて

陸幕通信電子課長 向吉長門

全国各地、各分野で、元気に御活躍中の信友会諸先輩の皆様、信友会創立20周年の慶事心より御祝ひ申し上げます。

一口に20年とは申せ、その年月にはずつしりした重みと、伝統の芽生えもあることと思ひます。

当初は、有志による三三五五の集いという形でスタートしたものが、自然に輪を広げ、現在の信友会の母胎となつたと伺っておりますが、会の目的を、発足の姿そのものの「親睦」におかれているのも、むべなるかなと思ひ次第です。

さて、SCR1536、EE18で始まつた陸自通信も、野外ではデジタル通信が導入され、基地では自営のマイクロ回線を保有し、全国駐屯地の大半が自動即時化され、要地通信システムによつて野外と基地が連接運用される等、先輩方の残された遺産は着実に発展、拡充されつゝあります。



反面、押し寄せるエレク

トロニクスの波は新たな変革を強要しつゝあり、これに対応するには、意識改革と、豊富な経験に基づく適確な見通しを必要とします。経験豊富な先輩諸子の、積極的な御助言を願つて止みません。時たま訪れた先輩の皆様方が、住みなれた古巣で、ひとときの安らぎを得られるよう努めて居りますので、御立寄りの上御鞭撻いただければ幸甚です。

20周年という一つの結節を機会に、信友会が益々発展され、会員の皆様が無永く御健勝で過されんことを祈つて止みません。

創立二十周年をお祝いして

通信学校長 松本 米二郎



信友会創立二十周年を、心からお祝い申し上げます、併せて信友会皆様方の御健勝をお慶び致します。

信友会創立の年は、私にとつても指揮幕僚課程を卒業した、節目の年でもありました。以来この二十年の

間、信友会の皆様と、現役の通信職種と、更に大きな絆で結ばれた、通信ファミリーに育てられ、今日まで勤務できた有り難さと、通信の誇りを強く感じ、先輩各位に深く感謝申し上げる次第であります。最近学校記事室で、五十七年までの通信電子の目次集を編集致しました。諸先輩の御活躍の記録が、一目瞭然と伺うことが出来ます。このように築かれた通信と、通信学校を発展させるのは勿論のこと、信友会と現役との太いパイプ役が、私の大きな役目でもあると考えております。毎年の合同懇親会で、今年もお元気で会い出来た、また来年も御健勝でお会い出来ますことを念じて杯を上げ、停年退官者を信友会に、お迎えいただく行事に、通信なればこそその感激を覚えております。

信（心）友会の、益々の御発展をお祈り致します。

各職種のOB会

通信補給処長 牛山正吾

信友会誕生二〇周年おめでとうございます。信友会もいよいよ盛大になり我々もまことに心強いものがあります。本年はネズミ年、すべてに機敏に対処する上からも組織化された信友会からの情報はまことに大きな価値があると思います。これを機会に各職種のOB会等をみるのも、何らかの参考に



なると思いますので別表を添付致します。
「会計」のように六等級・三尉以上の現役を含め毎年名簿・印刷物（「承風会誌」）を発行し事務局を中央会計隊においたところもあります。又「通信」「武器」以外は組織を中央と方面にわけているのが大きな違いかと思えます。今後大いに各職種の長所をとり入れたより良き信友会であることを祈り寸言とさせていただきます。

職種	施設	武器	需品	会計
名称	ときわぎ会	王土会	需交会	承風会
会員概数	一、〇〇〇名	九〇〇名	九〇〇名	現役 一、二〇〇名
組織	中央別 方面	中央のみ	中央別 方面	中央別 方面
名簿更新	2年毎	3年毎	3年毎	毎年
会長	前川 昌三	小野佐吉郎	（青木孝）	高橋 徹郎

各職種のOB会

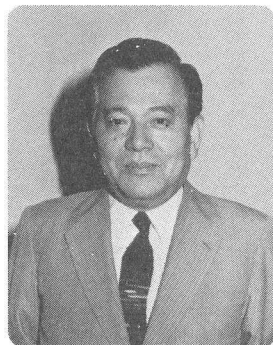
いろいろの会議に出席して

永野茂門

五月のサミットの直前に所用で米国を旅行した。中曽根総理が評判が良いのは予想通りであったが、国務省・国防省・民間企業のトップが口を揃えて東側への「技術移転」問題、日本の保全のルーズさを責めていたのには弁解のしようもなく閉口した。

昨年同様七月にロンドンで軍備バランス会議があつて参加した。私のプレゼンテーションに対して、日本は「……すべきである」ばかりで、日本は「……するつもりである」、「……しつゝある」が述べられてない」と批評されたが、日本の現状を鋭くついている。

この二つは、最近の日本に対する評価の顕著なものである。



信友会創設二十周年に寄せて

通信団長 中本吉昭

信友会が年毎に着実な歩みを続けられ、二十周年の記念すべき年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

皆様方が陸上自衛隊通信電子の革新、充実に情熱を傾けられ、幾多の苦難の道を切り拓くとともに、心の触れ合いを基調に固い団結で今日を迎えられ、その間現役の我々に對し、良き師、良き相談相手となつて頂きましたこと、改めてお礼申し上げます。

私、十五代通信団長を拝命し、身に余る栄光と重責を覚えつつ歩み始めたところでありますが、お陰様で隊務も順調に進展、これも先輩諸兄の御努力の成果であることを肝に銘じ、思考を閉鎖、固定化させないよう、また創造性を失うことのないよう努めていきたいと思っております。については皆様に一つお願いがあります。それは先輩として要望、忠告、或は助言をお願いしたいことであります。

す。お暇な折りに御来隊頂き、良き先輩振りを発揮していただいて、当面する問題を解決、明日への糧としたいの思ひからであります。

終りに、信友会の益々の御発展を希求し、お祝詞とします。



「信友」によせて

小林 有一

「信友会」の盛会を祝します。

会創設以来20年、永いもので、この間の御世話を受けた先輩諸兄の御苦労に改めて敬意を表するものであります。創立10周年の催を東中野の日本閣で実施したことが昨日の様な気がする。本当に早いものです。

当時陸上通信には「信友会」という強固なOBの集りがあるとして羨しがられたことを覚えておりますが、私もその仲間入りをして早2年余になり、今では大きな「心のよりどころ」となっております。



吾人等人間はおかしなもので何か心に支え棒になっているものがないと何かと腑抜けになるもので、特に現職を退いてからはその感が大きくなります。得てして役人という社会で長く住む

と自らを自主的に律していくことが不得意な体質に作りあげられるものだ。日頃、大きな組織の中で、ただ流れていくだけの楽な行き方をしているからだろう。

自衛官として、大きな変りはない。その結果組みこまれた組織から外れると、とたんに行き方を失って宙ぶらりんになってしまう。そんな心を支えてくれるものの一つが所謂同窓的結合だろう。これがまた日本人の情緒的感覚に大変よくなじむもので正に「心の故郷」である。

ところが組織というものは大きくなると兎角何か仕事をやりたがるもので、事業と称して色々なことを計画するようになる。日本人によくあるおかしな使命感の結果かもしれないが、これが困ったものだ。

その結果組織優先のルールを走ることになり、気持の上で色々と無理強いをするようになる。これでは折角たのしみにした情緒的なよりどころは全く壊れてしまい、つき合いくい名目的なつながりになってしまう。かねて一つ釜の飯を喰ったということで組織化され、周りの思惑を気にして断ることも出来ず、嫌々ながら実のないつき合いを続けているケースは必ずしも少ないものではない。

信友会は幸いにして創会以来20余年、元、陸上通信の同窓的結合として誠に順調な運営をして頂いていることは本当に結構なことであり、この後共、益々吾人等の大きな「心の故郷」たりうるよう、この機に特に願うものであります。

想 い 出

関 口 鑛 造

小生は海兵五十九期(陸士四十四期相当)、同期生には故末松虎夫君、曾良孝成君、等がいます。

昭和二十七年秋、久里浜の総隊学校のオリエンテーション終了后配置されたのは越中島総隊通信課補給班長でした。

ここで大失敗をやりました。と申しますのは、当時はいわゆる神代時代の七万五千体制から、一躍十一万体制に移行する最中で、法規、制度等詳細なものは何もなく、やむを得ず米軍のTOEが唯一の参考でしたが、これは野戦部隊に対するもので、当時の警察予備隊は先ず固定施設である駐屯地の整備が先決問題であり、通信のみに関しても、固通と部隊装備が混交してわけが分らん状態でした。

各部隊より装備品整備の請求が毎日山積するわけですが、忘れられないのは、野戦用無線機(SCR-300?)等の乾電池所要量

見積りでした。当時国内有力メーカーは民需用のものは大量生産していましたが、軍用規格(ミル・スペック)の耐寒耐熱性のものはなく、急いで各メーカーに軍用規格品の研究製作を依頼したわけです。

私の失敗というのは、この所要量の見積りでした。米軍TOEの四分の一位に見当をつけ納入させたのですが、これが当時の立川デポーに山積みされ、運悪く国会議員の野党側の先生諸公の目にとまり「過剰在庫、国費むだ費い」の御指摘を受け、総隊總監が国会で陳謝するハメとなり、小生も責任者の一人と

して、おとがめを受けた次第です。

今から考えると、メーカーから各地区デポーに直送させれば問題はなかったと思いますが、結果的には、これでも大不足で、追加発注に各業者大汗をかいた由です。

(失敗談以上で終わり)

昭和二十九年、当時ニュージャージー州、フォートマンモスの米陸軍通信学校上級課程(AOC)に、わが国から佐官級一名派遣の割り当てがあり、小生その留学指令の榮に浴しました。

コースは昭和二十九年七月から十一月まででしたが、何せ通信職種では第一回の米留学であり、行ってみたら約六十名のクラス中で日本人は小生独り。然し一カ月もする間に環境にも慣れ、課程終了が近づくとつれ更に上級の研究課程に留学を希望したのですが許可されず、結局卒業後、メリーランド州フォート・ミードにある第二軍司令部通信課に一月の予定で隊付勤務を命ぜられました。ここでは、唯独りの日本将校というわけで大モテ、大尉のエスコート付にて勝手な事をさせて呉れました。ヘリコプター一台出してくれ、首都ワシントン附近を約三時間空の散歩をした

のも楽しい想い出となりました。

帰国後は通信学校付、丁度適当なポストが無かった為でしょう。間もなく通信学校別科長になりました。別科というのは米留要員に対する英語教育機関で、それまで特科学校付属のものが久里浜に移って来たものです。ここで約四年勤務。米留一カ年と別科長の四年が、小生の人生の後半を決定した様な気がします。部隊勤務としては、東北地区補給処副処長一カ年のみ。その後幹部学校補給管理課程(SMC)教官室長二カ年、昭和三十八年十月目出度くりタイヤーという次第です。

右キャリアを振り返って見れば、ほとんどが共通職種配置ばかりで、通信屋の名に値しないのが恥かしい限りです。然し、旧軍に続く第二の人生としては、極めて有為な十二年を過ごさせて頂いた事を有難く思っている次第です。

現在(株)特許データーセンターという会社で、日本の出願特許文献の英訳チェッカーをやっておりますが、取組んでいる内容は強電、弱電のみならず、機械(メカ)あり、土木建築ありで朝から晩迄横文字と取組んでいる次第。どなたか科学技術文献の翻訳御希望

について狭い視野ながら私見を申し述べることにする。

一金権

選挙に金がかかり過ぎるのがその主なる理由と思われるが収賄・汚職の類が列島を覆い跡を絶たない。これを見做い取締りに当る人までが一部同調し更には医師が算術化するなど、この道義の退廃こそ最も憂うべきことではなからうか。政治に携わる人はその任が終った秋、古い諺の井戸と塀しか残らない位の清廉潔白な姿勢で率先して世直しをして欲しいものである。

二防衛

祖国の存亡にかかわる大事に関して与国から色々な要求と監視を受け而も糊塗しているような感じがするがこれでは真の独立国とは申せまい。また防衛目的達成のため各種施策を如何に推進するかということよりGNP%の枠議論が先行している。これもおかしい。

厳しい世界の現実から遊離して十年一日の如く非武装中立を称えているようなグループが凋落するのは当然である。レーガン大統領がINF交渉に際して消防を無くすることが

の方おられませんか。御手伝い願いたいものです。

最後に、信友会々員の皆様、還暦を過ぎた方が多いと思いますが、小生の先輩から賜わった名言を一つ御紹介します。

老兵管見

著明な未来学者ハーマン・カーン博士が急逝した。「超大国日本の挑戦」・「二十一世紀は日本の世紀」などの著作が示すとおり我が国への期待は絶大なものであった。(黄禍論のような狙いがあつたのか否かは知る由もないが。……)

その直後総理府から「社会意識に関する世

火災の防止に繋らず警備を止めたら泥棒がいなくなることはありえないという明確な決意のもと、着々と西側領袖としての威信を回復しつつあることに感銘を覚える。我国も米・ソのような軍事大国などにはなれる筈もなくまたなる必要もないのだからこの我が国の脅威?などと言挙げしているような輩の御気謙トリは止めて、せめて集団防衛体制の一員としての役割を如何にして立派に果たすかの議論を前向きにオープンにした方がかえって国民全般の共鳴支持を獲得できる早道と信ずる。

三教育

小学生時代を回顧すると先ず当時の担任の先生が如何に立派だったかということが頭に浮かぶ。黒板に書かれる字も巧ければ体操も模範、貫録十分で自然と三尺下つて師の影を踏まずの感があつた。現在の先生の中には内閣打倒とかストとか教育以外のことが多忙に過ぎ師弟の間の独れ合いが損われてしまつていく向きもあるようだ。教職に携わる人は自ら労働者などと云わず教え子にとって最高の聖職者でいて欲しい。

また主婦のバートを含む就職率は六〇%を超えているとのことであるが「私の宝は宝石

健康訓

五十や六十花なら奮
七十八十は働きざかり
九十になって迎えが来たら
百まで待てと追い返せ

緒方二郎

論調査」の結果が発表された。要約すれば日本が現在進んでいる方向についてどう思うかという問に対して「良い方向」と答えた人は僅かに二六%で「悪い方向」が逐年増加して三十九%に達したというのである。折角外から囁目されているのに自らが否定的であるのは一体どうしたことだろうか? この疑問

ではなく子供たち」と云つた昔の賢夫人の話がある。育ち盛りの大切な時機に母親が不在では良い子は育ち難い。目の前の実入りも必要だろうが余程気をつけないとやれ家庭内・学校内暴力とか以前聞いたこともないような青少年の非行化の現状は一部とは云え未だ限りである。

四マスコミ

時の権力に対して勇氣をもつて批判するのは大いに結構、しかし祖国を忘れ或いは単に売らんかなの目的で国民の健全性を損ね或いは大きな誤解を招くような報道については厳重にその責任を追及すべきである。例は枚挙に暇がないが最近では自衛隊のクーデター。台北のTVにはヒルメロはなく朝の六時から孔・孟の教を倫理教育として放映していた。

五保健

喫煙者の癌による死亡率は喫わない人より六〇%も高く肺癌は四倍、咽喉癌は二〇倍で周囲の人にも大害を与えているとのことである。先日の僅か二〇円の値上ではブレイキはかからない。憶測すればそろそろ問題化してきた高令化に伴う医療・年金対策として早期

自然損耗を期待しているのだろうか。本当に国民の健康を願うなら麻薬なみの徹底した禁止措置が望ましいのだが。(それにしても節煙程度で悪戦苦闘している我が身が情けない。)

結 び

我が国の発展を阻害すると思う要因を数項目挙げてみたが結論として形而下に関しては民族の優秀性と勤勉さをもって世界のリード役

恋をしましよ

西方 勉

暴言多謝

これから言いたい放題、書きたい放題と参ります。多分諸先輩から、相も変らず不謹慎な奴だ、生意気な奴だ、とのお叱りをこうむることと存じますので、最初に謹んでお詫びを申し上げます。

◎恋をしましよ

人間年をとれば、だんだん体がいうことをきかなくなるのは当然です。肉体の老化は避けられません。でも心の持ち方次第で、精神の老化は或る程度防げられると思います。それに恋をするのが一番です。頭が禿けても、髪

を果して行けるものと思われる。

問題は形而上にある。かつてない激変の時代において、ともすれば軽視されがちな日本古来の伝統的美風即ち愛国心・道徳・礼節・親子の絆などが十分に継承されこれを基盤としてこそ、はじめて洋々たる我が国の前途が拓かれるものと確信する次第である。

(五八・八・一〇)

が白くなつても、惚れた女は決して逃げません。こんなことをいうと、すぐにまた浮気のすすめかと勘違いなさる方が多いかと存じますが、私はそんな不道徳なことを申し上げるつもりは毛頭ありません。

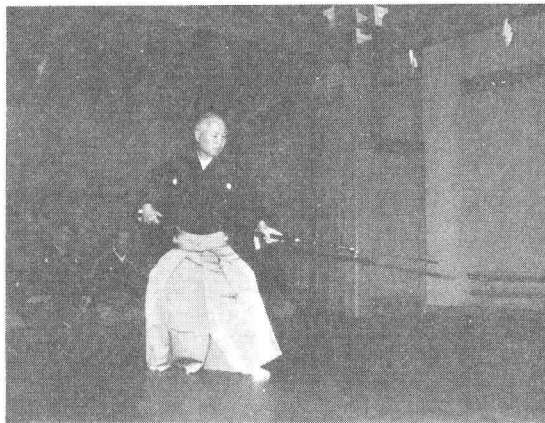
ここで恋と浮気は全く異質のものであることを強調しておきたいと存じます。さてこの世の中には男と女しかいません。それが親しくつき合つて何が悪いのでしょうか。愛し合つてどこがいけないのでしょうか。ただその際キチンと節度を保ち、絶対に誰も傷つけない、決して誰にも迷惑をかけない、これが大人の恋の基本だと思います。最近男と女の関係でずい分トラブルが多いようですが、それはこの基本を忘れていないからではないでしょうか。そしてその恋のお相手が、何十年かつれそつた古女房だったとしたら、それは最高のすばらしい恋だといえます。私の友人で、何をするのも一緒、まるで恋人同志のような夫婦がおります。謡の会も一緒、飲むのも一緒、並んで歩けば腕を組んでむつまじい会話が絶えません。羨しいことです。

皆さん、これからでも遅くありません。すばらしい恋をしましよ。え！ 老いらくの

恋だつて？ 冗談じゃない！ 熟年の恋？

とんでもない。まだ熟してなどおりません。私はいつも盛年の恋をしています。ご参考のために、私の信条、戦いの原則ならぬ恋の原則をご紹介します。

- 一 惚れられんと欲すれば惚れるべからず
- 二 女は愛すべきものなり、されど断じて騙すべからず
- 三 良質の女とのみ接すべし 悪質の女と



接するは身の破滅なり

- 四 女は感情に溺れ易し されば女には常に理性を以て接すべし
- 五 厳に秘密を守るべし 誰もしらぬということは何もないと同じことなり
- 六 決して相手に迷惑をかけるべからず 第三者の前では常に赤の他人なり
- 七 男と女の間にあるものは愛情のみ 金銭物質 打算その他一切の介在を許さず誰ですか。恋泥棒にも三分の理屈などと悪口いつているのは！

◎私の謡はやっぱり趣味

よく趣味が実益を兼ねるのは最高だなどと申しますが、私はそうは思いません。もともと趣味は人生を楽しむため、心をゆたかにするためのものであつて、実益を求めるものではないと思います。幸にして趣味が実益を兼ねることができたとしても、それはあくまでも結果であつて、初めから実益を求めたからではないでしょう。もし初めから実益を求めたとしたら、もはやそれは趣味ではありません。そして幸にしてささやかでも実益を得るようになったならば、そのときからそれは趣

味であつてはならないと存じます。そのような見地から、私は謡を趣味ではなく、終生の仕事として精進を続けたいと存じております。以上が私が第一の人生を歩き出した時に、皆様に差し上げたご挨拶です。これは新しい生活を始めるに当つての私の決意のようなもの、または「君は趣味が実益を兼ねて幸せだね」といわれたことに対する反論のようなものでした。以来6年近くの間、私なりに努力して参りました。土曜日曜も休んだことは殆んどありません。平日は「おしん」の出髪ならぬ出稽古をすまして、帰宅するのが夜十時すぎになることも珍しくありません。現役の時、飲んで午前様になることはあつても、事ある時以外に残業したこともなければ、休暇を残したことも全くない男が、今こんなに夜も昼もなくがんばっているのは何故だろう、と考えてみました。

それは謡の先生が仕事だ、という自覚にもとずくものでしょうか。いいえ、それが全く違うんですよ。仕事だと思つたら、私のようなグータラな男が、夜遅くまで謡などやつていられるのですか。お弟子さんにかこまれて、謡や仕舞をやっているのが只楽しいから